

特集

# このまちで共に生きる

## 農福連携を通じて



八雲町では、障がいのある方もない方も、地域で支え合いながら共に生きる社会（地域共生社会）の実現に向け、障がいに対する理解を深め、偏見を除去することを目的に理解促進講演会などを開催し、啓発活動を行っています。

今回、特集として取り上げる農福連携とは、障がい者等が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取り組みです。八雲町でも農福連携の取り組みが進んでいますが、今回は平成30年度に町がマッチングして繋がった就労継続支援B型事業所きずなファームさんと2戸のネギ農家さんに取材を行いました。

きずなファーム利用者

須田亮輔さん



**Q1. 作業はどうですか？**

A. ネギを収穫し、根や葉をうまく切れた時が一番嬉しかったです。

**Q2. 不安はありましたか？**

A. 不安はありましたが、作業を続けていくうちに自信に繋がりました。

**Q3. 今後やってみたい仕事は？**

A. 今後は料理関係の仕事をしてみたいと思っています。

きずなファーム利用者

工藤民子さん



**Q1. 作業はどうですか？**

A. とても楽しいです。ネギ収穫の作業が好きですし、自分には向いていると感じています。

**Q2. 不安はありましたか？**

A. 足腰が悪いので、痛めないか不安でしたが身体の具合を見ながら作業しています。

**Q3. 農家さんの印象はどうですか？**

A. 優しく対応してくれて、大変楽しく作業しています。